



近年、台風等による大雨で洪水が頻発し、県内で死傷者が発生しております。
この「我が家のタイムライン」で災害時に取るべき行動を整理しておきましょう。

【R8改訂版】

我が家のタイムライン

 (家)

まず、ハザードマップで自宅の災害リスクを確認！

 点線に沿って丸で囲む。(両方の場合もある)

河川氾濫による
浸水の危険あり

土砂災害の
危険あり

避難先(避難所、親戚宅、友人宅)



避難先までの移動手段



避難先までの移動時間



分

避難時に避難先を伝える相手・連絡先(家族・親戚など)



声をかけて一緒に避難する相手・連絡先(近所の方など)




洪水のおそれがあるときは、気象情報や市町村が発令する避難情報に注意して行動する！

防災気象情報
(大雨・河川氾濫・土砂災害)

逃げ遅れないためにやるべきこと

レベル1 早期注意情報

◆災害への心構えを高める

- ◆テレビやラジオで気象情報(台風情報)を確認する
- ◆避難先、移動手段、移動時間を再確認する
※河川や水田、崖に近づくのはやめましょう
- ◆避難するときに持っていくものを確認する( 印をつける)
※持ち物はあらかじめ非常持出袋などにまとめておきましょう
※季節によって必要なものを見直しましょう

レベル2 注意報

◆避難行動を確認
(避難場所や避難ルート、
避難のタイミングなど)

- 食料品 飲料水 常備薬 お薬手帳
- タオル ビニール袋 着替え 上履き
- 懐中電灯 携帯充電器 マスク ウェットティッシュ
- 現金 貴重品(通帳など) その他()

◆避難しやすい服装に着替える


レベル3 警報

<高齢者等避難>

◆避難に時間を要する人は
早めに避難

避難に時間のかかる人と支援者は避難する
(高齢者、障害者、乳幼児 など)

高齢者等が避難完了のタイミング

 点線に沿って
いずれかを丸で囲む

レベル4 危険警報

<避難指示>

◆危険な場所から全員避難

危険な場所から全員避難する

全員が避難完了のタイミング

レベル5 特別警報

<緊急安全確保>

◆命の危険 直ちに安全確保！

レベル5になってからでは『逃げ遅れ』になるリスク大！

※市町村によっては、「レベル2 注意報」で「高齢者等避難」を発令したり、「レベル3 警報」で「避難指示」を発令する場合があります。災害のおそれがあるときは、お住まいの市町村からの情報を確認しましょう！

<使い方>

- ・家の中の目立つ場所に貼っておき、災害時に内容を確認しながら避難しましょう。
- ・市町村の訓練に参加して定期的に内容を確認し、変更がある場合は見直しましょう。

我が家のタイムラインの使い方

災害時に逃げ遅れないよう、「いつ」「どのような」行動をとるかを事前に整理しておきましょう！

①ハザードマップで自宅の災害リスクを確認しよう

- ハザードマップは、浸水や土砂災害の危険があるエリアや、指定避難所の場所などが示された地図のことです。
- お住まいの市町村のハザードマップで、自宅やよく行く場所（学校・職場など）の災害リスクを確認しましょう。
- 災害リスクのあるエリアに自宅が所在する場合は、我が家のタイムラインを作成して災害に備えましょう。

②避難に必要な情報を記入しよう

- すぐに避難できるように、避難先、移動手段、避難時の持ち物などの情報を記入しておきましょう。

③避難するタイミングを確認しよう

- 避難に時間のかかる人は「**レベル3 警報**」＜**高齢者等避難**＞で早めに避難します（高齢者、障害者、乳幼児など）
- それ以外の人は全員「**レベル4 危険警報**」＜**避難指示**＞で避難します。
- 自分がどちらのタイミングで避難するのか確認して、該当する方を丸で囲みましょう。

④我が家のタイムラインに従って行動しよう

- 台風や大雨のおそれがあるときは、我が家のタイムラインを確認しましょう。
- 気象庁が発表する防災気象情報や、市町村が発令する避難情報に注意しましょう。
- 「**レベル3 警報**」＜**高齢者等避難**＞や「**レベル4 危険警報**」＜**避難指示**＞が発表されたら、逃げ遅れないように避難しましょう。

我が家のタイムライン (家)	
まず、ハザードマップで自宅の災害リスクを確認しよう！ 点線に沿って丸で囲む。(両方のレベル)	
避難先(避難所、親戚宅、友人宅)	避難先までの移動手段
避難時に避難先を伝える相手・連絡先(家族・親戚など)	避難先までの移動時間 分
避難時に避難先を伝える相手・連絡先(家族・親戚など)を付けて一緒に避難する相手・連絡先(近所の方など)	
洪水のおそれがあるときは、気象情報や市町村が発令する避難情報に注意して行動する！	
防災気象情報 (大雨・河川氾濫・土砂災害)	逃げ遅れないためにやるべきこと
レベル1 早期注意情報 ◆災害への心構えを高める	◆テレビやラジオで気象情報(台風情報)を確認する ◆避難先、移動手段、移動時間を再確認する ◆河川や水田、崖に近づかないようにしましょう
レベル2 注意報 ◆避難行動(避難場所、避難の準備など)	◆避難するときに持って確認する(☑をつける) ◆持ち物はあらかじめ非常持ち出し品にまとめておきましょう ◆季節によって必要なものを準備しておきましょう
レベル3 警報 ＜ 高齢者等避難 ＞ ◆避難に時間がかかる人は早めに避難	◆避難しやすい服装に着替える
レベル4 危険警報 ＜ 避難指示 ＞ ◆危険な場所から全員避難	避難に時間のかかる人と支援者は避難する(高齢者、障害者、乳幼児など)
レベル5 特別警報 ＜ 緊急安全確保 ＞ ◆命の危険 直ちに安全確保！	高齢者等が避難完了のタイミング
	危険な場所から全員避難する
	全員が避難完了のタイミング
	レベル5になってからでは「逃げ遅れ」になるリスク大！

※市町村によっては、「レベル2 注意報」で「高齢者等避難」を発令したり、「レベル3 警報」で「避難指示」を発令する場合もあります。災害のおそれがあるときは、お住まいの市町村からの情報を確認しましょう！

防災お役立ち情報

- 茨城県防災・危機管理ポータルサイト
県内で発令中の警報、市町村の避難情報の発令状況、避難所の開設状況などを確認できます。



- 茨城県 | WEB版マイ・タイムライン
パソコンやスマートフォンで我が家のタイムラインを作成できます。



- 国土交通省 | わがまちハザードマップ
市町村が作成したハザードマップを見つけやすくまとめたリンク集です。



- 気象庁 | キキクル (危険度分布)
洪水や土砂災害の危険度の高まりを確認できます。



- 茨城県 | 雨量・河川水位情報
県内の河川の水位情報や雨量情報などを確認できます。

